

平成 25 年度 第 3 回 摂津市民図書館等協議会 要点録

日時：平成 25 年 11 月 28 日（木）

10 時 30 分～12 時

場所：摂津市民図書館 3 階 大会議室

出席委員： 7 名

欠席委員： 3 名

事務局： 6 名

- 案件： 1. 平成 25 年度第 1 四半期および第 2 四半期モニタリング評価結果について
2. 平成 25 年度摂津市民図書館・摂津市立鳥飼図書館センター利用者満足度調査結果報告
3. その他

1. 平成 25 年度第 1 四半期および第 2 四半期モニタリング評価結果について
（事務局）平成 25 年度第 1 四半期および第 2 四半期の摂津市民図書館・鳥飼図書館センターモニタリング評価結果について年度評価の集計報告を行った。過去の推移を見ても同時期において年度毎に評価は増加傾向にある。

【モニタリング評価時の記述内容についての回答】

（事務局）エレベーターの昇降時間の待ち時間が長いというご意見について、施設の設定の為早急な対応はできない。ただ、対応年数が建物に比べて短い事からも改修時期と予算を見ての判断になるため、しばらくご不便をおかけする。また、もともとこちらのエレベーターは身障者用に設置された経緯がある（それに合わせた設えになっている）ことをご理解いただければと思う。

（事務局）安威川公民館の脇の車道に駐車している事については何度か業者に申し込んでいるが改善されないようなら再度話をする。入口付近の駐輪についてはもう少し対応を考えていく。

（事務局）鳥飼図書館センター玄関の段差について、平成 26 年度に外壁補修と内装の見直しを行う予定である。この段差についても解消する工事を現在実施予定である。構造上大変問題があり、バリアフリーの観点からも来年度の工事完了までお待ちいただきたい。

(事務局) 市民図書館の貸室について。厳密にいうと鳥飼図書センターは図書館法に基づく図書館ではなく、設置の経緯からも図書館機能を持った地域コミュニティセンターという立ち位置であるため貸室がある。図書館で一般的な用途として貸室業務を行うのは難しい。(図書活動にかかわる団体への無償貸出は可能)

【質疑応答や各委員の意見等】

(委員) 職員の適切な配置の部分で評価 2 を付けた。理由は毎月決まった曜日に団体のミーティングをしているがカギが(事前に)開いていない。去年は開いていたが今年に入ってまた開いていないので、事務室に言いに行くのだがとても言いづらい。図書館スタッフは団体の構成員について把握しているのか？

(事務局) ほかの団体さんも使うため、常時開けていては防犯上よくないのでカギを閉めていた。今回の会議など、事前に利用申請があればきちんと開けるようにしているが、把握できていなかった。声をかけづらいというお言葉に対してはスタッフに指導していくので、ぜひ声掛けをしてほしい。団体さんのメンバーは申し訳ないが顔を知らないスタッフも増えてきているので、把握できていない。ただ、団体名はきちんと全員把握しているので「〇〇です」と言ってもらえるとありがたい。

(委員) ほかにも新刊本が入っていないなど、指定管理者になって何がよくなったのか疑問を持つメンバーもいる。(開館日が増えて開館時間が延びるなど) 人目に付きやすいところは改善されているが、目につきにくいところがおいやられていないか。

(事務局) 図書の購入費は指定管理者になってから 20%増えている。(1 万冊くらい) ただし評判の本に関しては予約で 10 人以上待たれていると半年近くお待ちいただくことになってしまうので、現状として複本を購入しているが何冊も入れられないためどうしてもご不便をかけてしまう。

2. 平成 25 年度摂津市民図書館・摂津市立鳥飼図書センター利用者満足度調査結果報告

(事務局) 平成 25 年 8 月 1 日～14 日まで両館で実施した利用者満足度調査の集計結果を事務局から説明を行った。

【結果報告についての総括】

- (事務局) 挨拶・声掛けの満足度が上がらない件については、お困りの方を見つけて積極的に声をかけることができていないからではないかと思うため、スタッフに指導していく。
- (事務局) 本が少ないというご意見について、9月から10月にかけて書架の収蔵変更をしており、その準備のため段単位で本を移動したことが要因である。探しやすさなどは案内板を作るなどの改善を図りたいが、どこの図書館でも頭を悩ませている事案である。探しづらい時はぜひスタッフに声をかけていただきたいし、声掛けがしやすいようアピールをしていきたい。

【質疑応答や各委員の意見等】

- (委員) 返却していたのに、未返却となっており探してほしいと言われたがその言い方が疑われているように感じた。予約の状況の返事など、対応の仕方がずさんではないか。
- (事務局) 対応の仕方に問題があったとして、スタッフには再度徹底していく。予約に関しては、特に問題がなければ準備ができるまで連絡をしないシステムになっているのでお問い合わせいただいた時は待ち人数をお知らせするなど利用者に理解してもらえよう誠意ある対応をしていく。
- (委員) 会議室2で実施中のおはなし会(毎週土曜日開催)は、いつ小会議室(3階エレベーター横)に移動して実施できるのか。話は出たがその後まったく話がないのでどうなっているのか気になった。
- (事務局) 今回、文化講演会に合わせた写真展を(写真の枚数の都合から)実施したため、写真展終了後からは移動していただくよう準備していく。
- (委員) おはなし会をしていた会議室2の奥は倉庫代わりに作品を置いてくださいと言われたが、そこで人形などを制作したい。
- (事務局) (人が入らない)倉庫としての使用を検討している。作業スペースについては担当スタッフに確認する。
- (委員) 1階カウンターでのスタッフの対応はとても気持ちがよく、いいと思う。検索機で調べてもわからない本などはすぐ見つけてくれて、「棚まで案内します」と言ってもらった。それと比べて3階での対応はどうなのか、と疑問に思う。何かあった時(台風で閉めます、など)に連絡できる体制ができているのか、と不安になる。団体の名簿は持っているか?

(事務局) 連絡については体制を整えていなくてはならないが、図書館でも生涯学習課でも把握ができていない。以前名簿はもらっているのだろうか。

(委員) 今までにはそんな事を考えてなかったが、とても密接に結びついている職員さんがいたので何かあったらその人が対応してくれた。今はそれが薄れつつあるので改めてそういうことが必要なのでは、となってきた。

(事務局) 連絡網や連絡体制については早急に対応していきたい。人間関係の部分で対応していたところは、図書館の運営体制ががらりと変わってしまったのですぐに前と同じようにやれるかというところとできない。徐々に関係を構築させていただきたいと思うし、指定管理からも声掛けをしていくが、団体さんからも是非声をかけていただきたい。ただ、名簿は個人情報の観点から代表者の方のみでお願いしたい。

(委員) 広報に掲載されている「ホンのひととき」を毎回楽しみにしている。できればこのレイアウトの部分に図書館の行事を掲載して「図書館コーナー」ができないか。

(事務局) 広報のレイアウトは全て広報担当課が行っているため、相談・提案をしていきたい。

(委員) むいぐるみのお泊り会は子どもがとても喜んでる。

(事務局) あまりたくさんの方に対応できないが、楽しんでいただけるよう実施する。

(委員) モノレール駅にある「モノレール文庫」のコーナーにチラシを置くとかはできないのだろうか。交渉の仕方でも置かせてもらえるのではないかな。

(事務局) 駅等にポスターの掲示などの交渉を進めているが、少しでも見ていただけるよう工夫したい。モノレール駅に関しても交渉をしていきたい。

(委員) 雑誌の所蔵内容についてとても不満がある。文芸雑誌の代表4誌(文学界・新潮・群像・すばる)のいずれも所蔵していない。言論誌なら「世界」「中央公論」が有名だが、「正論」はあってそれに対抗するような、または戦後史を担ってきた「世界」もない。今ある雑誌も市民のニーズとか要求を入れてもう一度再検討してほしい。雑誌についての不満は潜在的にあると思う。

(事務局) 年に一度は検討しており、いくつか今年も変えている。今年度は子育て世代のお母さんへの本を増やしたりなどした。ただ、文芸雑誌などは今

後検討していく。

- (委員) 当館が所蔵していない雑誌(最新号は貸出不可だが、バックナンバー)の他館貸借はできないのか。大阪市立中央図書館などはとてもバックナンバーが充実しており、よい文献が掲載されている雑誌もある。論文を書くのに参照したいので借りてもらいたい。
大阪府立図書館は府民に対して貸出はしてもらえるが、府立大学図書館・情報センターの本は相互貸借館の中に入るのか。
- (事務局) 現在の相互貸借の対象となるのは図書館法に基づいた図書館となり、大阪府立図書館は対象となる。大学図書館は(横断検索の中には)現状としてどこも入っていない。市内の大学と公立図書館が館ごとに相互貸借を結ぶことはあるが、市を跨いではまず難しい。公立図書館から紹介状を書いて、承認をもらった上で紹介状を利用者に渡し持って行って利用する形をいまだに大学図書館に対しては行っている。
- (委員) 他館の図書館長が集まることがあればぜひ提案してもらえないか。他館でもニーズはあると思う。
- (委員) 新聞に掲載があったと思うが、(文芸雑誌などの)バックナンバーを譲ってほしいと蒐集家に呼びかけている自治体もあった。購入費の削減による苦肉の策ではあるが、それを修理して貸し出しするなどを行っているようだ。
- (事務局) 雑誌は1冊1000円でも月刊なら12000円になる。そのため(予算内での購入にあたって)一番見直しの対象になる。

3. その他

(事務局) 次回協議会やモニタリング評価発送についての説明を行った。

【質疑応答や各委員の意見等】

(委員) 24年度の図書館等協議会で議題に挙げた、長年摂津市民図書館へ貢献された方への表彰についてだが、大阪府での表彰者に推薦してもらい、先日表彰式が行われた。会議内での提案について対応してもらい、とても感謝している。